

一般社団法人名古屋林業土木協会会員のCN、GX、生物多様性、DXなどの取組事例

実施主体	(一社) 名古屋林業土木協会 事務局			
区分	CN (カーボンニュートラル) 温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。 2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする政府目標。	GX (グリーン転換) 化石エネルギーを中心とした現在の産業構造・社会構造をクリーンエネルギー中心へ転換すること。脱炭素社会を構築しようとする取り組み	NP (ネイチャーポジティブ、生物多様性) 生物多様性の損失を食い止め、反転・回復軌道に乗せること。COP15(2022年)において2030年までに実現することとして設定された国際目標	DX (デジタルトランスフォーメーション) データとデジタル技術を活用して、ビジネスモデルを変革し、業務や、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立。
	○	○		○
取組名称	ペーパーレス化			
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会報誌の電子配布と、会員名簿や通知文書の電子保存化とWeb公開 ・無紙FAXの設定 ・タブレット会議の開始 			
経費	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇〇,〇〇〇円 ・タブレット端末〇台購入 			
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・通信費、消耗品費(紙資源)、複合機損料の削減 ・事務量の減少による電気代等光熱費の削減 ・情報伝達の迅速化が図られる ・情報の汎用性、利便性の向上、アーカイブ ・労働時間の短縮が図られた 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの紙資料からタブレットを用いるペーパーレス会議では端末機器操作の習熟、順応が必要 			
備考欄				

写真①	
-----	--